

熏

左へ出す

背勢
(内側に反るようによく)

花

縦画は直筆中鋒

内円外方

眼

背勢

止める

暖

起筆は
45°
押さえ
すぎない

左へ出す

能

はなあたかよめくんにくんず
花暖かく能く眼に暎ず
花の色は眼にしみ入る如くである

(楊萬里)

欧陽詢(唐)の九成宮醴泉銘から字を集めて、
倣書(背臨)で書いています。九成宮醴泉銘は
「楷書の極則」と評されている。字形は端正、
タテ長、厳格で、切れ味鋭い筆法、背勢で
直線的である。全体に、上に狭く、下に広い
特徴がある。